Ⅰ　感染症対策の環境整備

避難所では、衛生状態が悪化し、感染症がまん延しやすい状況となります。そのため、下記を参考に避難所の環境整備を行いましょう。

１　平常時の対応

（１）必要物品等の準備

チェックリスト（別添 1-1）を参考に、平常時から必要物品を揃えておきましょう。また、感染症患者用の専用スペースを確保できるよう避難所内のレイアウトを検討しておきましょう。

２　災害発生時の対応

（１）必要物品の配置

- 感染症予防普及啓発用のポスターやリーフレットを、多くの人の目に入る場所（避難所玄関（出入口）や掲示板など）や、感染伝播リスクの高い場所（トイレや手洗い場など）に設置しましょう。（別添 1-2、1-3、参考資料一式を参照）
- 手洗い場やトイレに、手洗い用石鹸・ペーパータオルを設置しましょう。
- アルコール手指消毒薬や吐物処理セットは、必要時に使用できるよう、入口やトイレ、手洗い場など複数箇所に設置しましょう。

（２）居住区域の環境整備

- 避難所内は、土足厳禁にしましょう。
- 避難者間（家族間）の距離は、１～２m空けることが望ましいです。
- インフルエンザや嘔吐下痢症など感染症患者が発生した場合に備え、隔離するための場所を確保しましょう。
- 室内の清掃と換気は、定期的（午前・午後各１回位）に行いましょう。
- トイレの清掃・消毒も定期的に行いましょう。（参考資料３を参照）
- 紙オムツ等の廃棄のため、蓋付きの専用ゴミ箱を設置しましょう。